

- 問1 第一次世界大戦後の1919年に、戦後の処理を決めるために開かれた国際会議を何という？
- 問2 ヨーロッパ諸国が生産を停止したことで急増し、日本の産業を発展させた経済活動を何という？
- 問3 1919年、日本の植民地支配に対して朝鮮半島全域で起こった大規模な独立運動を何という？
- 問4 平塚らいてうが、女性の政治的・社会的権利を確立するために設立した組織は何という？
- 問5 ロシア革命を主導し、世界初の社会主義政権を打ち立てた指導者は誰？
- 問6 1925年、普通選挙法とともに制定され、社会主義運動や共産主義運動を厳しく取り締まった法律を何という？
- 問7 大正時代に、主権が誰にあるかに関わらず、民衆の意向を尊重して政治を行うべきだという「民本主義」を提唱した人物は誰？
- 問8 日英同盟の解消を決定した国際会議が開催されたのは何年？
- 問9 「女性に太陽であった」という言葉を掲げ、大正時代の女性解放運動の中心となった人物は誰？
- 問10 大正時代初期、特定の藩出身者が政治を独占する仕組みを批判して起こった政治的な動きを何という？
- 問11 国際連盟の提唱国でありながら、国内の何による反対のため加盟できなかったアメリカの機関はどこ？
- 問12 加藤高明内閣のもとで、納税資格が撤廃され普通選挙が実現したのは何年？
- 問13 ガンディーが指導したインドの独立運動において、イギリスによる塩の専売に抗議して行われた象徴的な行動を何という？
- 問14 第一次世界大戦後に制定され、世界で初めて労働者の権利である「社会権」を明文化した憲法を持つ国はどこ？
- 問15 第一次世界大戦中、ヨーロッパ諸国の生産能力が低下したことで日本が経験した未曾有の好景気を何という？
- 問16 大正時代から昭和初期にかけて、国民が人間らしく生きる権利を保障するために掲げられた権利を何という？
- 問17 平民宰相の原敬が、首相就任時に持っていた公的な身分は？
- 問18 大正時代に広まった、個人の尊厳や民主主義を重んじる風潮を何という？
- 問19 大正時代に、平塚らいてうらが中心となって結成された、女性の新しいあり方を追求する文学団体を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え パリ講和会議	この会議には日本も戦勝国の一つとして参加しました。会議の結果として結ばれたベルサイユ条約によって、日本はドイツが持っていた中国山東省の権益を継承することが国際的に認められました。また、この会議では国際連盟の設立も決定されました。
問2	答え 輸出	この好機を捉え、日本はアジアやアメリカ市場に向けて綿製品や雑貨、船などの輸出を急増させました。これにより日本の工業力は飛躍的に高まり、貿易黒字が定着しました。
問3	答え 三・一独立運動	1919年3月1日、朝鮮の独立を求める宣言書が発表されたのを機に、京城から全土へとデモが拡大しました。学生や市民が「独立万歳」を唱えて行進しましたが、日本の警察や軍隊によって厳しく弾圧され、多くの犠牲者が出ました。
問4	答え 新婦人協会	新婦人協会は、女性の政治参加を禁止していた治安警察法第5条の改正や、女性の社会進出を阻む法律の改善を目指しました。平塚らいてうは、市川房枝らと協力して署名運動を行い、政治の場へ女性の声を届けようとしてしました。これは、日本の女性運動が個人的な自己主張の段階から、組織的・政治的な権利要求の段階へ移行したことを示しています。
問5	答え レーニン	レーニンは、革命勢力であるボルシェビキを率いて、1917年に「パンと土地と平和」というスローガンを掲げて革命を成功させました。私有財産を否定し、生産手段を国が管理する社会主義の理想を現実の政策として実行に移しました。
問6	答え 治安維持法	治安維持法は、天皇制（国体）を変革しようとする組織や、私有財産制度を否定するような社会主義・共産主義的な活動を厳しく取り締まるための法律です。この法律は後に内容が強化され、思想や言論の自由を奪い、国民を弾圧する手段として広く用いられました。
問7	答え 吉野作造	吉野作造は雑誌『中央公論』などで、国家の主権がどこにあるかという形式論よりも、政治の結果が民衆の利益にかなうかどうかが重要であると説きました。これを「民本主義」と呼び、普通選挙の実施や政党政治を求める当時の民主化運動に大きな理論的支柱を与えました。
問8	答え 1921年	アメリカの呼びかけにより1921年にワシントン会議が開催されました。この会議で、日本を軍事的に抑制し、中国の主権を尊重させる国際秩序を目指すため、日英同盟の解消が合意されました。
問9	答え 平塚らいてう	平塚らいてうは、女性の感性を活かした表現の場として1911年に雑誌『青鞥』を創刊しました。当時の女性の地位向上を求める動きを象徴する「女性に太陽であった」という宣言は、女性が自らの意志で生きる権利を主張したものです。
問10	答え 藩閥政治	藩閥政治とは、特定の藩出身者が長期にわたって政府の要職を固める政治体制のことです。大正時代に入ると、これに対する国民の批判が強まり、「憲政擁護」を掲げて、憲法に基づいた政党中心の政治を求める運動（第一次護憲運動）が発生しました。
問11	答え 議会	国際連盟はアメリカのウィルソン大統領が提唱したのですが、加盟の承認権を持つアメリカ議会で強い反対に遭いました。結果として、アメリカは条約を批准できず、国際連盟に加盟しませんでした。
問12	答え 1925	1925年、加藤高明内閣のもとで普通選挙法が制定されました。これにより、それまでの納税額による制限が取り払われ、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられました。
問13	答え 塩の行進	1930年、ガンディーは数百キロの道のりを歩いて海岸まで行き、自ら海水を煮て塩を作る「塩の行進」を行いました。これはイギリスの植民地支配に対する静かながら強力な抵抗の意思表示であり、インド全土の民衆を勇気づけました。
問14	答え ドイツ	ドイツのワイマルで制定された憲法は、個人の自由だけでなく、労働者が人間らしく生きるための権利（社会権）を憲法で保障しました。これにより、国家が社会的な弱者を保護し、生存権を保障する考え方が示されました。
問15	答え 大戦景気	その隙に日本製品がアジアやアメリカ市場に浸透し、輸出が飛躍的に伸びました。この結果、造船や鉄鋼業などの産業が急成長し、日本国内には膨大な利益がもたらされました。
問16	答え 生存権	生存権とは、国民が「健康で文化的な最低限度の生活」を送る権利のことです。大正時代から人々の権利意識が高まり、後に日本国憲法にも盛り込まれました。この権利は、生活を維持するための公的な支援や、労働条件の改善を求める根拠となりました。
問17	答え 衆議院議員	原敬は、爵位を持たない一般国民出身の衆議院議員でありながら首相の座に就きました。そのため「平民宰相」と呼ばれ、国民から親近感をもって迎えられました。政党政治の象徴として、国民の声が直接政治に反映されることへの期待が込められていました。
問18	答え 大正デモクラシー	この風潮のもとで、普通選挙運動や労働運動、女性解放運動などが盛んに行われました。また、憲法を守ることを掲げた「護憲運動」などもこの時期の特徴です。
問19	答え 青鞥社	平塚らいてうは、女性たちの自由な創作の場として『青鞥』という雑誌を創刊しました。創刊号の巻頭言にある「元始、女性は実に太陽であった」という言葉は、女性の本来的な尊厳と力を宣言するものでした。この活動を通じて、多くの女性たちが自分自身の生き方や社会のあり方に疑問を持ち始めました。